

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

美和

日付 平成 20年 12月25日
特定非営利活動法人

評価機関名

ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験15年

評価調査員 在宅介護経験15年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

古い豪邸をバリアフリーに改造と増築して、自宅にいるような居心地中で9人の利用者(男性1人を含む)が仲良く、落ち着いた雰囲気の中で生活している。「こんにちは、お邪魔します」の挨拶に、「何処から来なすったかね?」と、人懐こい口調で優しく迎えてくれる利用者。初めての訪問で少々不安を感じていた私にも、ずうと皆の中に入って行けるとても良い雰囲気に包みこまれた。民家を改造し田フローリング風の洋間に2つのテーブルがあり、それぞれの席に気の合う仲間同士で座っている。ガラス戸越しに見える軒先には、利用者が丹精込めて作った吊るし柿が20連ほど干されていた。職員の引く鍵盤の演奏に合わせて昔よくうたっていた童謡や、流行歌を手拍子を打ったり、首を振りながら拍子をとりながら楽しそうに歌っている。その間にその歌の題名や内容をクイズ形式で利用者と職員で語り合っていた。

利用者の中には外に出て畑仕事の好きな2人は、職員と玉ねぎの苗を植え付けていた。「近所の方がトラクターで耕して下さったので助かっています」と感謝されている。疲れない様に利用者の表情を汲み取って、水分の補給や休憩をとることも忘れない。「畑仕事は、しんどくないですか」の声に、「ずっとやっていたから・・・」と笑顔で応えてくれた。「この方は、この仕事が好きなの。こうしていないと徘徊されるから・・・」と、利用者の事をよく理解され、働く喜びを与えている。夕方までに800本の苗を植え付けていた。

このホームの特長は、大きな門構えがあり、外には広い本格的な畑がある。畑はいつも計画的に種まきや苗を植えて収穫を楽しむ。リビングルームの壁には作物の作付日と収穫予定日、そして、作物のレイアウトが貼ってある。

食事の時間は皆、何より楽しみの時。配膳は職員がそれぞれの体調に合わせて盛り付けして、食べ易いようにその人に合わせて小さく刻んである。「食後の片付けは私の仕事よ」と言わんばかりに、食器を運んで片付ける人が居る。

それぞれの能力とやる気を生かして出来る事はやってもらう。「助かるわ、有難う」と感謝される事に「これ位の事はせんと罰が当たる」と笑顔が返ってくる。いつも掃除をして廊下がピカピカになっている。管理者や職員と抱き合って話し込んでいる人も居る。

このように、このホームでは、恵まれた自然環境の中で、ホームで収穫した野菜や果物、代表者の方が作ったお米や、畑で採れた野菜等、食材に恵まれ、食事を楽しみながらよく働き、よく喋り、心身の健康に大いに役立つホームである。

特に改善の余地があると思われる点

このホームの事業の目的及び運営方針 [社会福祉法人本来の使命に邁進し利用者に安心と安らぎ、職員の幸福、地域社会への貢献を目的とし福祉向上に寄与する]とある。

尤もな事だと思うが、抽象的過ぎてピンと来ない。出来るだけ現場に即した、具体的な解り易い言葉を職員皆で話し合って作り、全職員で共有していく事を提案します。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：利用者に安心と安らぎを与え、職員の幸福、地域社会への貢献を目的とし福祉向上に寄与する。この事業の運営方針として掲げ、利用者や家族、地域の人に理解されるよう毎月家族への便り、地域住民に対しては隔月の運営推進会議などで啓蒙している。</p> <p>2、全体的に見て…：利用者がそれぞれ、興味のある事に取り組み、又、温かい姿勢で職員の寄り添い、見守り、声かけ等のケアに守られて安心して落ち着いた生活を送っている。設立して3年半を経過した今、管理者はグループホームの運営はまだ難しい、認知症に関する奥の深さともっと正しい知識(単に物忘れがあるのみではいけない)を知らなければならないと話してくれた。まさにその通りであり、正しい認知症の理解がケアの大きな力になるだろう。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：古い造り酒屋の家を活用して、生活し易い様に改造して出来たグループホームである。田舎の大きな自宅に居る様な感じで、利用者にとって最良の環境にある。</p> <p>2、全体的に見て…：大邸宅を思わせる昔ながらの門の両方の別棟の住居にはこの家に住んでいた人が居て、いざと言う時の心強い助っ人となっている。庭には季節の花々が植えてあり、鯉の泳いでいる池がある。中に入ると1段と高くなっている床の間付きの和室は、談話室として使用。ボランティアで、歌や踊り、楽器の演奏などの発表の場の舞台としても使用されている。フロアから眺める庭には、利用者と職員の協働の作品と思われる季節の花が人の目を楽しませ、感性を呼び起こしている。フロアには、何時も童謡の曲が静かに流れていて、心地良い空気が流れている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：入居する時、家族からの聞き取り調査で利用者の生活歴、趣味、嗜好、現状等のアセスメントを行い、利用者の情報を出来るだけ多く把握している。介護計画を作るプロアセスや記録類は分かりやすいものになっている。入所前からのかかりつけ医はもとよりホームで提携している医療機関もあり、緊急時の対応も確保されている。</p> <p>2、全体的に見て…：入所前の生活歴を知る事により夫々の個性や身体的精神的能力に応じてその人が自分の能力を十分発揮出来るよう、活動の場を設けている。ずっと農業をして人は畑で野菜を作り、それが食卓に上るのを楽しみにしている。又、炊事の手伝いや片付け、お膳運び、台拭き、洗濯物をたたんだり等と生活の中に役立っている事が確認できる事の喜びは大きい。</p> <p>入所してから、一人ひとりの行動をしっかりと観察していると、普通、異常と思われ勝ちな素振りがその人の何らかのサインとして気付き出すと、その人との意思疎通ができ、穏やかになり、食事を食べ、発語してくれ、人間味を取り戻してくれた。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…：このホームの運営方針である[利用者]に安心と安らぎと地域貢献が掲げられていがそれを具体化するために、管理者全職員が協力している姿勢がうかがえた。</p> <p>2、全体的に見て…：月々の行なわれる行事、新年会、誕生会、節分、ひな祭り、花見の行事やボランティアが訪問してくれ、納涼祭、地域サークルの発表の場の提供にもなっている。玄関の下駄箱の上のブックスタンドに立ててあるアルバムには沢山のスナップ写真が貼ってあり、その時々様子が手にとる様に分かる。又、圏内地域のグループホームとの連絡会議に積極的に参加し、情報の収集や研修会を通して、ホームの質の向上に取り組んでいる。家族から信頼され、地域からも有望視されるホームになる事を期待している。</p>		